

# 新しい曲を練習する手順

作成:近藤史明

## ①まず楽譜を「ざっと」全体的に見る

- 曲のタイトルとその意味を把握する
- 作曲者について把握し、調べる
- 調性を把握する(♯と♭がどの音についているか)
- 拍子を把握し、手で叩いてみる
- 速さの指示、曲想の指示など(意味も)
- 全体の構成(繰り返しの有無、ダルセーニョ、コーダの位置)
- 発想記号(f、pなど)と速度記号(a Tempo、rall.など)をチェック

## ②ゆっくり弾き、運指や左手のポジション、セーハの位置、難しい箇所をチェック

- 運指(左右)を楽譜に書き込む
- 左手のポジションを楽譜に書き込む
- セーハの位置を楽譜に書き込む
- よくわからない、すぐに弾けそうにない難しい箇所をチェック(赤)
- リズム通りに弾けない、続けて弾けない所をチェック(黄)
- ♯、♭など見落としそうな箇所をチェック(青)

## ③部分練習Ⅰ

- メロディーだけを弾き、フレーズの山と谷を把握する
- 伴奏(低音)だけを弾き、低音のフレーズを確認する

## ④部分練習Ⅱ

- 赤の箇所について運指などを良く考え、テンポで弾けるまで練習
- 黄の箇所について運指などを良く考え、テンポで弾けるまで練習
- 青の箇所も練習

## ⑤部分練習Ⅲ

- 1小節ごと(長さは必要に応じて変える)にスラスラ弾けるまで練習→徐々に大きなまとまりを通すようにする(1→2→4→8→16小節)、これを繰り返す
- このとき、新たに難しい箇所が出てきたらチェックする
- 最後に全体を通し、必要に応じて部分練習を行う

## ⑥曲作り

- フォルテやピアノなどをもう一度チェックし、演奏に反映させる
- フレーズの歌い方、方向性を考え、演奏に反映させる
- 音色の変化、アーティキュレーションなどを検討する